



# 知的財産権問題研究部会

2025年  
部会紹介・活動計画

# 部会紹介(部員・ アドバイザー)

## \* 参加企業／メンバー（2025年1月9日現在）

### \* 13社／15名 所属（知財部、法務部、事業開発部、事業企画部等）

大塚製薬株式会社

ギリアド・サイエンシズ株式会社

興和株式会社

JSR株式会社

全薬工業株式会社

テイカ製薬株式会社

東レ株式会社

日本臓器製薬株式会社

ノバルディスクファーマ株式会社

久光製薬株式会社

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

レメディ・アンド・カンパニー株式会社

シンバイオ製薬株式会社

### \* アドバイザー

\* アンダーソン・毛利・友常 法律事務所（弁護士1名・弁理士1名）

\* 大野総合法律事務所（弁護士1名）

\* モリソン・フォスター法律事務所（弁護士1名）

# 部会紹介（活動内容）

## 【研究活動（主に発表）】

- \* 実務の観点から対象を「より深く掘り下げ」研究する
  - \* 先発及び後発医薬品企業のそれぞれの観点から議論・検討する
  - \* 知財業務以外の担当者にも役立つ成果が得られることを心掛ける
- \* 対象：すべての知的財産権に関する事項  
（偽造医薬品対策、特許侵害訴訟、特許プールなど多岐に亘る）
  - \* 知的財産権：特許、実用新案、意匠、商標、不正競争防止法、著作権etc.
  - \* 2024年度テーマ：「知財訴訟における損害論」及び「人工知能(AI)と知的財産権」

## 【勉強会（毎月開催）】

- \* 当番制で、部会員が自由にテーマを選択して全体で検討

# 部会紹介(過去に発表した研究テーマ)

## 2014年

- ✓ 「製薬メーカー社内における医薬品のライフサイクルマネジメントに即した知財チェックリスト」
- ✓ 「特許存続期間延長制度 2011年改訂審査基準改定後の事例検討～2014年5月30日付 知財高裁大合議判決を受けて～」

## 2015年

- ✓ 「知財部門が知っておきたい薬事規制」

## 2016年

- ✓ 「大学・ベンチャー企業との共同研究契約に関する注意点」
- ✓ 「ゲノム編集技術CRISPR-CASの医療領域に与えるインパクトと課題」

## 2017年

- ✓ 「医薬品企業が知っておきたい知財判例」
- ✓ 「後発医薬品参入予測時期と実参入時期にタイムラグのある先発医薬品の分析」

## 2018年

- ✓ 「知財部以外も知っておきたい製品開発と特許の関係性」

## 2019年

- ✓ 「医薬品企業に関わる知的財産権と偽造医薬品対策」
- ✓ 「米国におけるバイオシミラーの承認申請 (aBLA) 手続及び特許紛争解決手続」 ～パテントダンスを中心に～

## 2020年

- ✓ 「諸外国のペテントリンケージ制度と日本における運用」
- ✓ 「医薬品企業の職務発明への対応調査」

# 部会紹介(過去に発表した研究テーマ)

## 2021年

- ✓ 「日本と米国における発明者認定」
- ✓ 「mRNAコロナウイルスワクチンを巡る特許の現状と特許利用に関する取り組み」

## 2022年

- ✓ 「COVID-19関連医薬品の特許出願状況と医薬品の転用に係る知財保護上の課題」
- ✓ 「共同研究開発に係る契約において法務・知財担当者が留意すべき知財上の論点」

## 2023年

- ✓ 「医薬品企業が知っておきたい知財判例」  
～特許性判断に関する近時の裁判例～
- ✓ 「日本版パテントリンケージの課題」  
～エリブリン事件判決を題材に～

## 2024年

- ✓ 「知財訴訟における侵害論」  
～近時の統計と令和元年特許法改正の影響～
- ✓ 「人工知能（AI）と知的財産権」

# 2024年度 部会活動

- \* 6月 月例会発表：「知財訴訟における損害論」  
～近時の統計と令和元年特許法改正の影響～
- \* 12月 LM誌上発表：「人工知能(AI)と知的財産権」
- \* 勉強会テーマ
  - \* 「特許法102条2項の適用要件について」裁判例の紹介（4月）
  - \* 原出願が審判係属中の分割出願に対する審査中止の運用について（5月）
  - \* 「著作権の利用、複製、引用について」裁判例の紹介（6月）
  - \* 共同開発時の成果の帰属について（7月）
  - \* 米国における医薬品ライフサイクルマネジメントの概説（8月）
  - \* 日本のパテントリンケージ制度について（9月）
  - \* フリーランス新法に関する実務対応について（10月）
  - \* 共同研究開発の成果の取扱いについて（11月）
  - \* 各国のパテントリンケージ制度について（12月）

# 2024年度 部会活動

## 【知的財産権問題研究部会 月例会発表（6月）の概要】

テーマ：「知財訴訟における損害論」

～近時の統計と令和元年特許法改正の影響～

- \* 近時の訴訟で損害論の算定がどのように行われているかを紹介すると共に、令和元年改正特許法102条が実務に及ぼす影響について考察し、報告した。

## 【知的財産権問題研究部会 誌上発表（12月）の概要】

テーマ：「人工知能(AI)と知的財産権」

- \* AIが発明者たり得るかについて各国の裁判例を紹介すると共に、日本における生成AIと著作権の関係性、及びAI関連技術の特許性について整理し、報告した。

# 2025年度 研究テーマ

- \* 6月 月例会発表

- \* テーマ検討中

- \* 部会員の関心の高いテーマを選定する予定です。

- \* 12月 LM誌上発表

- \* テーマ検討中

- \* 部会員の関心の高いテーマを選定する予定です。

知的財産権問題研究部会への  
ご参加をお待ちしております。